

エゾカフェ店主敬白

VOL.2 2010/7/2

こんにちは、エゾシカカフェ店主の石崎です。

エゾシカカフェは、そのまま名前の通り、エゾシカ料理をご提供するカフェですが、本当のコンセプトは、『エゾシカ好きのオーラをあてて、エゾシカ大好きにさせる』ことにあります。

店主敬白も、皆さんにエゾシカのことをもっと知ってもらい、しかも大好きになってもらうためのものです。肩肘張らず、軽い気持ちで読んでみるしかない？

エゾシカの捕らえ方



エゾシカは家畜ではなく、野生動物です。山の中を走り回っています。家畜なら、太ったら屠場に連れていき、牛1頭あたり5000円くらい出せば、お肉にできます。

じゃあ、エゾシカはどうするの？ エゾシカは、猟銃で撃って捕らえるか、わなを使います。もし美味しいお肉が欲しければ、乱暴なように聞こえますが、猟銃で撃って捕まえるのがベターです。わなにかかると、エゾシカが暴れてしまって、お肉がやけたり（温度が高くなって生焼けに）、怪我をして味が落ちてしまいます。では、猟銃で捕らえたエゾシカは、みんな美味しーかということ、実は、猟銃を扱う人、つまりハンターの腕次第です。

ゴルゴ13

ゴルゴ13を知っていますが？ 実は、美味しいエゾシカ肉のゲットには、ゴルゴ13並みの腕が必要です。

エゾシカもできれば、人間に撃たれたくはないので、ハンターのオーラを感じると、かなりの距離があっても、逃げていってしまいます。（腕のいいハンターに会うと、本当にオーラが見えます。ドキドキします。）

普通のハンターは、通常150mから200mで射撃しますが、腕のいいハンターの有効射程距離は、300mを超えることもあります。さらに、頭か首しか狙いません。旨い肉のためには、一発で息の根を止めることが重要です。もし、足や胴体に、弾丸が当たってしまったら、

その部位は食べることができないので、そういった意味でも、当てる部位はとても重要です。しかしながら、300m先のエゾシカの頭なんて、スコープで覗いても、まったく識別不能です。ハンターが何をねらって撃っているか聞くと、空気を読むとか、心の眼で見るとか、マジか？という答えしかかえて来ません。カフェで使っているエゾシカは、私の知る限り、北海道でも指折りのハンター集団が獲ったエゾシカです。彼らは、200m先の500円玉は100発100中を誇ります。こんなゴルゴ13sが獲ったエゾシカ、これはもう美味しく食べるしかありません。

